

## 褥瘡対策

---

褥瘡（じょくそう）とは「床ずれ」のことで、長時間同じ体勢で寝ていると臀部（おしり）などにできる創（キズ）です。褥瘡対策とは、入院患者さんにおける褥瘡の発生、増悪を防ぐことを目的としています。

患者さんが入院された時は、活動状況、全身状態、皮膚の状態などをみて、褥瘡発生の危険性を評価し、その人に合った看護を検討します。すでに褥瘡が発生している場合は、必要な治療、看護を検討し、褥瘡の増悪防止、症状改善を目指します。

## 褥瘡対策チーム

---

皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師など褥瘡に対する専門知識を持ったスタッフにより構成されています。上記の褥瘡対策のため、定期的に回診・検討会を行っています。

## 褥瘡対策チームの紹介

---

皮膚科主任部長 南祥一郎

本チームは 2006 年より活動を開始しました。2008 年には院内電子カルテ内に「褥瘡管理システム」をつくり、院内での褥瘡発生予測アセスメント・褥瘡状態評価を行っています。このシステムにより、迅速かつ的確に褥瘡患者さんの診療・看護計画をたてることができるようになりました。